

代表取締役社長交代に関するお知らせ

日本臓器製薬株式会社(本社:大阪、以下「日本臓器製薬」)は、この度、代表取締役社長の小西龍作が退任し、2023年6月6日付で、現 取締役専務執行役員 開発本部長の小西崇文が代表取締役社長に就任することになりましたのでお知らせいたします。

<人事異動の内容>

氏名	新役職	現役職
小西 龍作	取締役	代表取締役社長
小西 崇文	代表取締役社長	取締役専務執行役員

<新任代表取締役社長 略歴>

氏名: 小西 崇文 (こにし たかふみ)

生年月日: 1988年4月3日

出身地: 兵庫県

職歴:

2011年4月1日付	マルホ株式会社入社
2013年3月31日付	マルホ株式会社退社
2013年4月1日付	日本臓器製薬株式会社入社
2015年3月付	東京大学 Executive Management Program12期修了
2016年11月1日付	開発本部
2018年4月4日付	開発本部企画部企画一課長
2018年8月3日付	開発本部企画部長
2020年6月23日付	取締役執行役員
2021年6月22日付	取締役常務執行役員 開発本部長 医療機器製造販売業責任者 管理監督者
2022年5月23日~	大阪大学大学院医学系研究科整形外科学 研究員
2022年6月14日付	取締役専務執行役員 開発本部長

<代表取締役社長の交代について>

日本臓器製薬は 1939 年創業以来、医薬品の研究開発に注力し、鎮痛薬をはじめとする病院向け医薬品と薬局向け医薬品の製造、販売をおこなってまいりました。

2002 年に小西龍作が代表取締役社長に就任し 20 年以上が経過しましたが、その間、当社を取り巻く環境は大きく変化してきました。日本の製薬産業は、少子高齢化の更なる進展、国際的な研究開発競争の激化、薬価制度改正等により成長が抑えられ、海外企業に劣後しています。

日本臓器製薬が、これからも社会から求められる企業であるためには、これらの課題を好機に換える発想に転換し、新たな価値を創造するイノベーションな医療ソリューション企業であることが必要と考え、新時代医療への革新的な構造改革を推し進めていきます。

その推進を先導するリーダーとして、最先端のバイオ技術を有する海外企業やアカデミアをはじめとする研究機関との柔軟な連携体制を構築し、創薬シーズの探索や治験の立ち上げなど社会実装の実績をもつ、小西崇文(現 取締役専務執行役員 開発本部長)を代表取締役社長に選任します。

<新任代表取締役社長 小西 崇文 挨拶>

このたび日本臓器製薬の代表取締役社長に就任いたします小西崇文です。日本臓器製薬は 1939 年の創業以来、整形外科をはじめとする多くの専門領域の先生方の強い期待と信頼に応え、医薬品の研究開発から製造販売まで、製薬に関するすべての業務を一貫して手掛けてきました。

しかし今、医療、製薬を取り巻く環境は急激に変化しています。低分子創薬だけでなく、バイオ医薬品、遺伝子治療、再生医療等と拡大し続ける領域において、製薬会社が新薬・新医療デバイスを創出し続けていくためには、新たな芽を見つけ、各分野の先駆者とともにイノベーションなソリューションを実現し、その価値を最大化していくことが不可欠です。

我々も国内外での幅広い産学連携のオープンイノベーションを軸とした新薬創出の取り組みを始めていますが、さらにその活動を推し進めていくとともに、より多角的で深い構想力を持ち、国内発の新薬・新医療デバイスをアジア各国と共創し、世界に展開していく新たなビジネスモデルを実現していきます。

日本臓器製薬は、ライフサイエンスの理想を追い求め、サイエンスを軸としてより良い方向へ挑戦を続けていく企業です。そのために、真に社会から求め続けられる企業への変革を促し、革新的な成功のロールモデルを実現することができる、強く健全な経営体制を早急に構築していくことが必要と確信しています。

世界に向け、大志を持ってビジネスへの投資を行うことは、日本臓器製薬の国際的価値が高まることだけでなく、日本の意義深い価値を創造する製薬会社の使命です。私たちはこれからの医療産業に貢献できるよう医療現場の先頭に立ち、挑戦を続けてまいります。



<お問合せ先>

担当部署 コーポレートコミュニケーション室

TEL. 06-6203-0441(代表) MAIL. corp-branch@nippon-zoki.co.jp